



◆◆無垢と合板のフローリングの違い◆◆

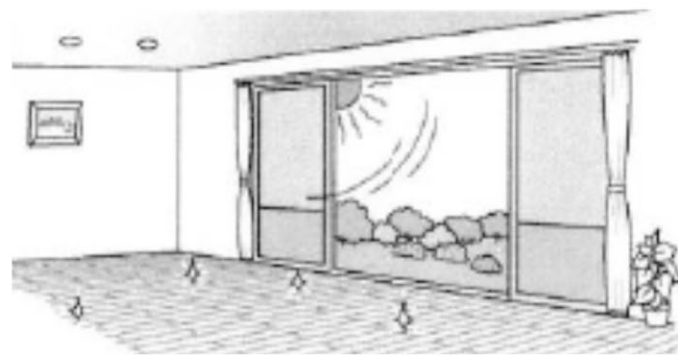
☆無垢フローリング☆

無垢材の大きな特徴は、天然木をそのまま加工していることです。木の良さや質感に優れていて種類も豊富で、広葉樹系や針葉樹系など様々です。無垢の木は空気中の余分な湿度を吸ったり、過度な乾燥した状態においては湿度を放出する天然の湿度調整機能が備わっています。天然木材の持つリラックス効果や抗菌・殺菌・鎮痛作用があります。ウレタンやオイル、無塗装と仕上げによって風合いは変わります。化学薬品を使わないのでアトピーやアレルギーの心配も少ないです。

しかし、無垢材には反りや割れ、収縮などの問題が起きるとい点もあります。パインや杉・ヒノキ材は柔らかいので傷がつきやすく、合板フローリングに比べて価格が高いというのもデメリットな点です。

また、ホットカーペットを使用すると、カーペットの下に熱がこもり、反りや割れの原因となります。使用する場合には、カーペットの下に断熱性の高いマットを敷き、高温で長時間使用しない

ようにしましょう。
温風ヒーターの風も長時間あると、ひび割れや目隙の原因となります。
ご注意ください。



☆合板フローリング☆

合板の表面に薄く削られた天然木の単板をはったものです。単板の厚い物の方が木目が鮮やかで溝も深くなっており、高級感があり価格も高めです。色味や機能、価格などバリエーションが豊富で、加工次第で汚れや傷がつきにくいものや、洗面室やトイレなどを対象とした耐水性に優れたもの、床暖房に対応したものなど用途に合わせて選ぶことが大きな魅力です。無垢材との一番の違いは、床材がほとんど伸縮しないことです。無垢材に比べて施工しやすく、短期間で完成できるため、そのコストも安く上げることが可能です。デメリットは無垢材のような味わいや個性、温かみが少ないこと、調湿しないので夏は素足だと汗でベタベタすることがあります。また、湿気や紫外線によって劣化が著しく、建物の寿命より前に張替えが必要になることもあります。また、ホルムアルデヒドを含む接着剤が使用されていることがありますので、十分な確認が必要です。

■ フローリングのお手入れ ■

●無垢フローリングの場合 普段のお手入れは掃除機と乾いた雑巾での乾拭きが基本です。水は大敵！床に水をこぼしたらこまめに拭きましょう。頑固な汚れを落とす場合は固く絞った雑巾で行いましょう。きちんと手入れをすればツヤと風合いが増し年々色も深まって美しくなるのが特徴です。



ワックスがけは仕上げの塗装によって異なります。

必ず施工店等で確認してから行いましょう。

ウレタン塗装、ウレタンUV塗装の場合は特にワックスがけは必要ありません。天然(オイル)仕上げの場合は同じメーカーのオイルを使用することが一番きれいに仕上がります。無塗装でワックスやオイルを後に塗る場合には、今までについた汚れをきれいに研磨してから行いましょう。

●合板の場合 それほど神経質にならず、基本的なお手入れは掃除機などでゴミやホコリを取り除き、水拭きなどが好ましいです。ただし、固く絞った薄めの雑巾で短時間に行うようにしましょう。また、汚れを落としたいときに使う洗剤などは強い洗剤だと変色する可能性があるため、中性洗剤以外はおすすめ出来ません。また、クエン酸(酢)とエッセンシャルオイルで作ったスプレーを使用しながら、素早く拭き取るのもおススメです。

(スプレーボトルにクエン酸5gに対し100gになるまで水を加え、エッセンシャルオイルを3~5滴ほど垂らしてよく振れば出来上がりです。)

ワックスがけは家庭用アクリル・ウレタン樹脂系が一般的ですが、お子さんのいらっしゃるご家庭では天然原料のワックスを使用されることもおススメです。

♪かんたんレシピ♪

長芋のオイスターソース炒め (二人分)

<材料>

・長芋 300g ・豚肉 100g ・小松菜 1把 ・オイスターソース 大さじ3
・酒 大さじ1/2 ・片栗粉 小さじ1 ・塩コショウ 少々


- ①長芋は皮をむいて一口大の乱切りにする。豚肉は片栗粉をまぶしておき、小松菜は3~4cmに切る。
- ②フライパンを熱しサラダ油を少し多めにひき、豚肉を炒める。長芋と小松菜も入れて酒をまわしかけ、小松菜がしんなりするくらいに炒める。
- ③最後にオイスターソースと塩コショウを加え、味付けをしたら出来上がり~!



新しい の家造り

すなわちそれは古き良き時代の日本の家造り(棟梁のいた時代)

皆様の家造りをサポートする場所

 株式会社 シモダ

健康で快適な住まいを考える会・大阪

住まいの駅

〒571-0017 門真市四宮1-2-3

TEL 072-886-0311

http://www.sumai-no-eki.jp/